

第16回

# ふるさと清掃運動会 報告集



環境アクション  
2022

「ふるさと清掃運動会」実行委員会事務局

# ふるさと清掃運動会とは

著名人からなる「富士山大好き!百人の会」が“富士山から日本を変える”を合言葉に、ふるさとの山、川、海、湖沼、街など身近なところから環境アクションを起こそう!と2007年、全国の市民、学生、企業で働く人たちに呼びかけました。毎年10月を集中月間に、もうひとつの運動会を行おうというものです。

実行委員長は王貞治さん。実行委員会は市民団体、企業、学生ボランティアなどで構成しています。「ふるさとん」は当運動会のキャラクターです。



ふるさとん

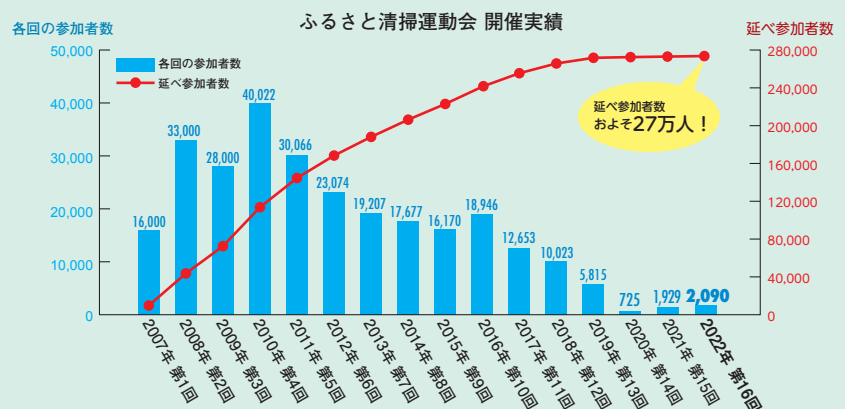
最近、SDGsやマイクロプラスチックによる海洋汚染、気候変動対策等、環境問題に対する社会的関心が高まっています。ESG投資への関心の高まり等、環境問題対策は企業活動にも影響を与える要素となっています。これらのテーマは世界的なものではありますが、日頃から身近な生活環境に注意を払いエコネットワーク運動を通して、人々との交流を深め、ふるさとを見守り続ける運動意識を醸成したいものです。

参加方法は簡単で、身近な所で清掃活動や植林、森づくりなど環境アクションを計画して事務局にエントリー。計画内容はホームページを通じて全国に知らせます。活動後は活動内容と写真を事務局に送っていただき、それらを報告集にまとめて参加団体にお送りします。

実行委員会はこれまで東京湾岸大清掃作戦や富士山麓での清掃活動、また長崎県対馬で「日韓海岸清掃フェスタ」を実施。人為的境界線を越えた環境活動をも展開してきました。東日本大震災に対する復興支援活動では福島県いわき市で展開しているオーガニックコットンプロジェクトを支援しています。2007年の第1回から第16回の今年までにのべ27万人以上が47都道府県で環境アクションを起こしました。第16回においてはイギリス・フランスにおいても取組みがなされ、また、団体インタビューや環境ボランティア交流会といった新たな取り組みを開始し、様々な団体・個人との繋がりの維持・強化を図りました。

2020年から引き続きコロナ禍により活動が制限される状況ではありますが、「継続は力だ」という言葉のもと、取り巻く環境の変化に柔軟に対応して歩み続けます。

(ふるさと清掃運動会実行委員会)



ふるさと清掃運動会実行委員会	
実行委員長	王 貞治 (福岡ソフトバンクホークス会長)
実行委員長代行	奥島 孝康 (高野連元会長、ボーイスカウト連盟会長)
	野口 健 (アルピニスト、富士山クラブ理事長)
顧問	亀山 久雄 (元ふるさと清掃運動会事務局長)
	野口 和 (富士山大好き・百人の会 委員・幹事)
事務局 長	久保 宣映 (学生ボランティア企画集団 NUTS OB)
事務局 次長	山本 浩也 (学生ボランティア企画集団 NUTS OB)
	野口 邦彦 (学生ボランティア企画集団 NUTS OB OG 会長)
実行委員	藤森 真信 (東芝デジタルソリューションズ)
	太田 成俊 (富士急トラベル)
	安部 智子 (IT SPORTS 連盟)
	藤森 夏幸 (荒川クリーンエイド・フォーラム)
	石坂 政俊 (富士山クラブ理事)
	白石 テル (T&X 代表)
	遠藤 賢二 (毎日新聞社)
	山岸 正克 (荒川クリーンエイド・フォーラム会員)
	竹内 啓士 (学生ボランティア企画集団 NUTS OB)
	吉原 大希 (学生ボランティア企画集団 NUTS OB)
	酒井 将志 (学生ボランティア企画集団 NUTS OB)
	平澤 佑樹 (学生ボランティア企画集団 NUTS OB)
	牧野 杏実 (学生ボランティア企画集団 NUTS OG)
	遠藤実耶美 (学生ボランティア企画集団 NUTS 19 期代表)
	早川 采沙 (学生ボランティア企画集団 NUTS 19 期副代表)
	学生ボランティア企画集団 NUTS 19 期
サポーター	学生ボランティア企画集団 NUTS OB、OG

ふるさと清掃運動会を支える団体・人びと	
主催	ふるさと清掃運動会実行委員会
共催	NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラム NPO 法人富士山クラブ
特別協賛	東芝デジタルソリューションズ株式会社
協賛	IT SPORTS 連盟
特別協力	全国川ごみネットワーク
協力	富士急行株式会社 毎日新聞社 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 株式会社 T & X 一ツ橋ライオンズクラブ 学生ボランティア企画集団 NUTS





# 「ふるさと清掃運動会」への参加方法

「ふるさと清掃運動会」はどなたでもご参加いただけます。

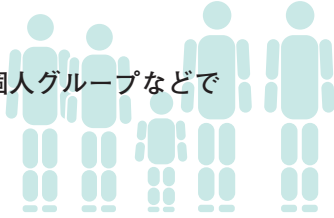
ゴミ拾い・植林活動・清掃登山など、「環境保全のアクション」であれば、内容は問いません。

また、10月を集中月間としますが、それ以外の時期に実施していただいても構いません。

さあ、あなたも「ふるさと清掃運動会」に参加してみませんか。

## 【STEP 1】

各企業、団体、学校、市民、個人グループなどでチームをつくります。



## 【STEP 2】

アクションを企画して、申込用紙に記入!!  
記入漏れがないかを確認して、事務局までメールでご提出ください。

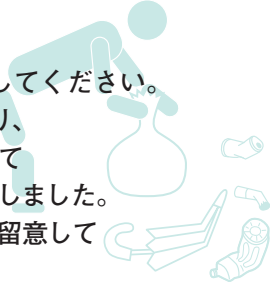
メールアドレス：furusatoseiso@gmail.com

ご記入いただいた内容をもとに、ホームページ (<https://furusatoseiso.jp>) 等を通じて全国にPRいたします。  
オンライン申込フォームでの参加登録も可能です。



## 【STEP 3】

アクション当日、アクションを実行してください。  
なお、第14回ふるさと清掃運動会より、新型コロナウイルス感染症拡大に際して「ふるさとんから10のお願い」を策定しました。  
アクションを実施する際は右記の点に留意して取り組みましょう。



### ふるさとんから10のお願い

ふるさと清掃運動会 実施ガイドライン (2020年9月1日制定)

新型コロナウイルス感染拡大防止・安全確保・環境保全の観点から、以下の点に留意してアクションを企画・実行しましょう。

**◆ アクション企画時 ◆**

- 1** 新型コロナウイルス感染状況や気象状況等をこまめに収集し、危険がないか確認しましょう。
- 2** 参加者名簿の作成や、状況に応じたフローを作成するなど、万が一の場合に備えましょう。  
※個人情報の取り扱いには十分ご注意ください。

**◆ アクション参加・実行時 ◆**

- 3** 日頃から体調を把握し、少しでも体調不良の場合は参加を見合わせましょう。
- 4** スタッフも含めマスクを着用するとともに、咳エチケットを心がけましょう。
- 5** アクション時はソーシャルディスタンスを意識するとともに、三密(密接・密集・密閉)を避けましょう。
- 6** 熱中症予防のため、こまめに水分をとり休憩しましょう。また屋外で人と十分な距離(2m以上)が確保できる場合には、マスクをはずすようにしましょう。
- 7** アクション前後の集会や写真撮影等は最小限とし、SNS等での情報発信を活用しましょう。
- 8** 洗っていない手で目や鼻、口などを触らないようにしましょう。帰宅後は手洗いうがいを心がけましょう。
- 9** マイボトル・マイバッグ等を活用し、ごみの減量に努めましょう。また自分で出したごみは各自で持ち帰りましょう。
- 10** 接触確認アプリ(COCOAJ)をインストールして活用し、感染拡大防止に努めましょう。

みんなで協力して、素晴らしいふるさと清掃運動会にしよう!

ふるさと清掃運動会実行委員会

**6** 安全な水とトイレを世界中に

## ふるさと清掃運動会 × SDGs



**14** 海の豊かさを守ろう

ふるさと清掃運動会はふるさとの山、川、海、湖沼、街など身近なところから環境アクションを起こそう!と2007年、全国の市民、学生、企業で働く人たちに呼びかけ、毎年10月を集中月間に、もうひとつの運動会を行おうというものです。

全国の大小問わない環境アクションのプラットフォームとしての機能を高め、活動内容を共有していくことで、全国各地の取組を相互に知るとともに刺激を与えあい、様々な環境アクションが展開されていく好循環を醸成していくことを目指しています。このエコネットワークを発展させていくことは、SDGsのうち特に以下の4つのゴール達成に資すると考えています。

- 6. 安全な水とトイレを世界中に**
- 11. 住み続けられるまちづくりを**
- 14. 海の豊かさを守ろう**
- 15. 陸の豊かさを守ろう**

全国の環境アクションのプラットフォームとして機能するだけでなく、ふるさと清掃運動会の主催イベントもSDGsとの関連があります。例えば、定例的に実施している荒川清掃は「SDGs 14. 海の豊かさを守ろう」、富士山麓での清掃活動は「SDGs 15. 陸の豊かさを守ろう」の達成に資する活動です。また、2020年より実施している全国一斉清掃は活動フィールドを限定しておらず、複数のSDGs項目をカバーします。一人ひとりの活動は決して大きなものでなくても、お互いの活動内容を知り、称え合い、みんなで前進していくことでより良い未来を創ることができると考えます。ともに歩んでいきましょう。

**11** 住み続けられるまちづくりを

**15** 陸の豊かさを守ろう

# 第16回 ふるさと清掃運動会報告集

ふるさと清掃運動会の報告集は 2022 年度版の完成をもって 16 冊目を迎えました。第 1 回から団体のシンボルとして走り続けるふるさとんの姿はもちろん、これまで参加して下さった約 27 万人の方々の活動への思いが 1 冊 1 冊の報告集に込められています。過去の報告集はふるさと清掃運動会 HP より閲覧していただけますので、ぜひふるさと清掃運動会が人と時代とともに歩んできた歴史を踏まえ、団体設立 20 周年に向けたここ数年の新たなスタートをご覧ください。



## 目次

全国一斉清掃	.....	P5
荒川清掃	.....	P6
学生ボランティア企画集団 NUTS 活動報告	.....	P7
団体インタビュー／全国ネットワーキング活動	.....	P8
環境ボランティア交流会	.....	P9
東芝デジタルソリューションズグループの活動報告	.....	P11
全国からのアクション報告	.....	P12
ふるさとんからの団体紹介 (IT SPORTS LEAGUE)	.....	P14
報告会／事務局長より／編集後記	.....	P15



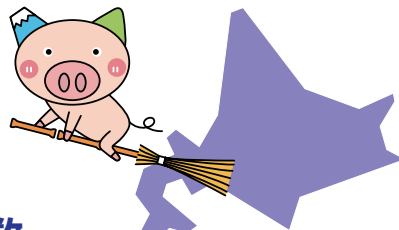


# 全国一斉清掃

「全国一斉清掃」は「一人でも気軽にできる環境アクション“ゴミ拾い”を通して全国でつながろう！」という思いのもと、2020年冬に始まりました。これは期間内の好きな日時に好きな場所でゴミ拾いを行い、所定のフォームに投稿することで参加できるイベントで、ふるさと清掃運動会の中心的な企画になりつつあります。

4回目となる「全国一斉清掃2022夏」は8月11日～31日の21日間を開催期間とし、“47都道府県制覇、参加者数1,000人突破”を目指して、ふるさと清掃運動会のHPやSNS (Twitter、Instagram)、ゴミ拾いSNS“Pirika (ピリカ)”等で呼び掛けを行いました。特にSNSでは相互フォローを中心にDMで参加を呼び掛けるとともに、目標達成状況をツイートし未踏の地域への呼び掛けを強化しました。その結果、前回は大幅に上回る“42都道府県+海外 (イギリス・フランス) から923人”の方々にご参加いただきました。

「全国一斉清掃2022～2023冬」は年末年始を跨ぐ12月24日～1月9日の17日間を開催期間とし、再度“47都道府県制覇、参加者数1,000人突破”を目指しました。今回からTwitterやInstagramでの報告もカウント対象に加えました。結果、“28都道府県+海外 (アメリカ・イギリス) から386人”の方々にご参加いただきました。残念ながら目標を大きく下回ったものの、2回の「全国一斉清掃」により“ゴミ拾い”を通して全国に環境アクションの環を拡げることができました。



参加合計人数  
**1,309**人

先日海ガメが網に引っかかっていたところを救出して海に返しました。電宮城はまだなのですが続ける意味があると思います!(笑)

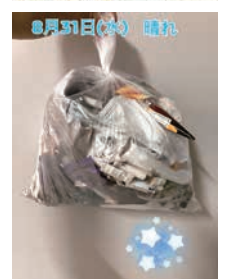
いつも利用しているバス停や商店街周辺など、手軽に行ける場所を選び、拾うごみは燃えるごみと決めて活動しました。



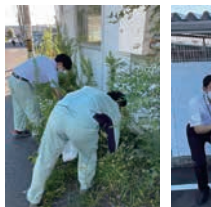
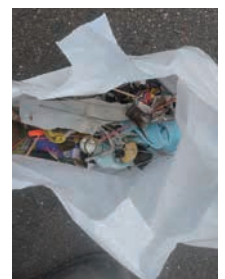
空き缶が落ちていたのを見かけて片づけたことをきっかけに、周辺のゴミ拾いをしました。以前清掃した時よりタバコのゴミが減っており治安の改善を感じました。



ゴミ拾いをしていると「お疲れさま」「ありがとう」と声を掛けて頂きます。趣味でやっているゴミ拾いですが……声を掛けて頂くと嬉しく励みになります!



ゴミ拾いを始めてから、リサイクルボックスに可燃ゴミやプラカップ容器などを捨てる人が多い事に気が付きました。リサイクルボックスの正しい使い方が広まればいいなと思います。





# 荒川清掃



ふるさと清掃運動会では、毎年10月に荒川河川敷で1,000名規模の清掃活動を実施しており、今回で12回目を迎えます。昨年はコロナ禍のため、実行委員や協力団体のみに告知していましたが、今年は3年ぶりに一般向けに広報をしたうえで開催しました。

開催日時は10月29日土曜日、場所は昨年に引き続き、足立区千住大川地区の荒川右岸での開催となりました。開催に当たっては、昨年同様、国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所及び足立区の後援を頂戴しました。また、事前準備・当日運営・ゴミ処理に至るまで、荒川クリーンエイド・フォーラムにご協力をいただき、大きなトラブルなく開催することができました。

今回の参加者は135名と、昨年の約2倍の方々にご参加いただきました。清掃範囲も昨年の約2倍と広げ、例年通り大変拾い甲斐のある清掃活動となったと感じております。また、実行委員や協力団体関係の参加者だけではなく、初めてふるさと清掃運動会に参加される団体や個人も多くいらっしゃいました。環境アクションの環を広げ、「運動会」のように楽しいイベントとして活動することで、単なる清掃活動に留まらず、ふるさと清掃運動会の象徴的な位置づけとしての荒川清掃を継続してまいります。参加者の皆様、ご後援・協力いただいた各所・団体の皆様にご場をお借りして改めて御礼申し上げます。

第16回 ふるさと清掃運動会  
メインイベント

## 荒川でちょっといいことゴミ拾い

2022年 10/29(土) 14:00-16:00  
受付: 13:30-14:00

日時

- 10/29(火)以下参加申し込みを継続します
- 当日早上班者や遅刻に余裕をもってお越しください
- 雨天順延の場合: 11月12日(土) 期間同上

場所

千住新橋(南詰)周辺 河川敷  
受付: 千住新橋(南詰)下  
千住新橋野球場(D面)そば  
★JR北千住駅(西口)から徒歩15分

持物  
服装

帽子、マスク、軍手、長袖シャツ、長ズボン、  
汚れてよい履き慣れた運動靴または長靴 (厚底推奨)

10/25(火)14時までに  
下記内容の電子メールを送信してください  
① 上限300名とさせていただきます

参加  
申込

- 宛先: [furusatosoiseo@gmail.com](mailto:furusatosoiseo@gmail.com)
- 件名: 荒川清掃
- 本文: ① 氏名 (代表者)  
② 電話番号 (代表者)  
③ 参加人数

【主催】 ふるさと清掃運動会実行委員会  
【後援】 足立区、国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所  
【協力】 株式会社毎日新聞、株式会社環境新聞、NPO法人環境NPO、NPO法人アクト、NPO法人アクト、NPO法人アクト、NPO法人アクト

ふるさと清掃運動会  
<https://furusatosoiseo.jp>

告知用チラシ

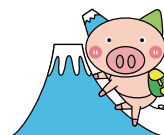
## 受付・開会式

学生ボランティア企画集団 NUTS 現役・OBOG が協力して、参加者の受付と班分けを行いました。受付時には感染症対策として検温・消毒を実施しました。開会式では、NUTSOB の竹内氏の司会の元、久保事務局長・亀山顧問が挨拶しました。また、実行委員長代行の野口健氏からのメッセージを披露しました。その後、本運動会の共催団体である荒川クリーンエイド・フォーラムから諸注意・分別説明があり、開会式終了後、参加者は班ごとに分かれて、スタッフの誘導の元、ゴミの収集へ向かいました。



## 野口健さんコメント

皆さん、こんにちは。富士山クラブ理事長の野口健です。今日は、このように多くの方々、ふるさと清掃運動会にご参加いただき、大変嬉しく思います。ふるさと清掃運動会は、2007年にスタートし、今回で16回目となります。スタートした年の9月に、呼びかけ人の一人として環境省の記者クラブで、王貞治さんや加藤登紀子さんと「富士山から日本を変えよう」と訴えて活動を始めたことを昨日のこのように思い出します。おかげさまで、これまでに賛同し、活動していただいた方々は、全国の市民、学生、企業の方々を含め、約27万人となっております。コロナ禍で全国の活動はやや停滞しましたが、私たちのふるさとの山や川、海、街の環境を守り、子どもたちに美しい日本を残していく活動は、これからが本番です。一人ひとりができることは小さくても、たくさんの方が参加すれば大きな力となります。今日のアクションをきっかけに、活動の輪がさらに広がっていくことを祈ってごあいさつに代えさせていただきます。今日一日、よろしくお願いいたします！





## 閉会式・成果発表

清掃活動終了後、ゴミと一緒に集合写真を撮影した後、移動して閉会式を行いました。学生ボランティア企画集団 NUTS の白石さんより清掃活動の成果発表、参加者からの感想、久保事務局長から挨拶があり、閉会となりました。

なお、カシオ計算機様より参加者全員にお菓子（※1）とエコバック（※2）の差し入れをいただき、疲れた体に良い糖分補給ができたとともに、嬉しいお土産となりました。

清掃活動の成果は、可燃ごみ 84 袋、ペットボトル 50 袋（約 1,500 本）、缶 31 袋、ビン 16 袋、粗大ゴミとしてエンジン・フライパン・灯油缶等を回収しました。



※1 当社がある渋谷区の北側、北渋谷エリアにある障がい者就労支援事業所が運営する「渋谷まる福」の手作り菓子



※2 同社のプラスチックごみを削減するラベルライター商品である「Lateco」のロゴ入り

## コラム — 事前準備 草刈について

今年度の新たな取り組みとして、清掃現場の草刈りを実行委員自身で行いました。刈払機を使った作業となるため、竹内と久保で「刈払機取扱作業者安全衛生教育」を受講し、安全に配慮して実施しました。草刈りは、9月初旬と10月

中旬に計3日間実施し、実行委員の山岸氏とその知人にご支援（指導？）をいただきました。刈払機を初めて使用し、搬入搬出路や休憩場所など、当日の動きを確認しながらの作業を行うことができ、良い経験になりました。

## 学生ボランティア企画集団 NUTS

学生ボランティア企画集団 NUTS（ナッツ）は、2004 年に行われた 24 時間テレビ「富士山をきれいにするプロジェクト」（日本テレビ）をきっかけに発足しました。未熟な学生がボランティアを楽しみながら一緒に成長していくという理念のもと活動しています。そして、最近は会話を楽しみながらゴミ拾いをするのでゴミ拾い自体を身近に感じ好きになれるように、また、普段関わらないような人と関わることで世界が広がるように、といったことを大切にしています。NUTS は 20 人ほどで活動しているのですが、ほとんど全員が違う大学（約 15 大学）に所属していることに加え、中高生や社会人の方が清掃活動に参加して下さることもあるので、活動中の会話を通して新たな発見をしたり刺激を受けたりといったことがよくあります。

現在は、月イチ清掃と題し都内の駅周辺の清掃を行ったり、ふるさと清掃運動会の活動に参加したりしています。こうした基本の活動に加え、最近は他団体さんの企画したボランティアにも参加しており、イベントの運営スタッフやサンタクロースとして家庭を訪問するなど、メンバーの興味のままに幅広く活動しています。

（学生ボランティア企画集団 NUTS 副代表・早川采沙）





# 団体インタビュー

2022年度からスタートした新企画。  
ふるさと清掃運動会と関わりのある方々に  
活動内容やふるさと清掃運動会への想いをインタビューしました！

下記のリンクや右のQRコードからアクセス可能です。  
<https://note.com/furusatoseiso>



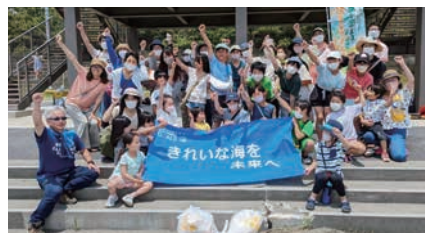
## 認定NPO法人 富士山クラブ

1998年に発足し富士山麓で自然環境保護活動を実施。ふるさと清掃運動会には第1回(2007年)から参加。



## 学生ボランティア企画集団 NUTS

ふるさと清掃運動会発足当初から企画、運営に携わる。清掃活動をはじめ、福祉系の活動にもチャレンジするインカレサークル。



## NPO法人 湘南グリーンエイドフォーラム

地元のサーファーを中心としたグループ発祥！湘南海岸を拠点に「調べるビーチクリーン」をはじめさまざまな活動を展開。



## NPO法人 荒川グリーンエイド・フォーラム

調べるゴミ拾いを中心にさまざまな活動を通じて総合的に荒川の環境を考え、市民の意識向上を図る取り組みを実施しているNPO法人。



## 中高生ボランティア団体 NEXUS

湘南海岸での清掃活動を中心に、中学生・高校生が主体的に環境アクションに取り組む。「家でも学校でもない、第三の居場所」



## NPO法人 環境ボランティアサークル亀の子隊

愛知県渥美半島で、小学校の教員として子どもたちと始めた活動を長年にわたり継続。遠方から参加される方や企業と連携した活動にも取り組む。

# 全国ネットワーキング活動

ぜひフォローしてください！！



Twitter



Instagram

全国のような団体に、10月のふるさと清掃運動会集中月間における環境アクションをエントリーしていただくために全国ネットワーキング活動を継続的に実施しています。集中月間の前後に実施している全国一斉清掃等の告知に際して、環境アクションを実施している団体をリサーチし、お声掛けしています。また、イベントにご参加いただいた団体に対してSNS等を通じて個別のやりとりをさせていただいています。地道な取り組みの成果として、Twitterのフォローアカウント数はここ3年間で5倍に増え、2020年に開始したInstagramのフォロー者数は300アカウントを超えました。まだまだ関係構築強化の途上です。引き続き、各団体との繋がりを広げ、発信力を強化することで、ふるさと清掃運動会のプラットフォーム機能を高めていきます。(事務局次長 野口邦彦)



# 環境ボランティア交流会



これまでふるさと清掃運動会では全国ネットワーキング活動や報告会などを通じて、全国的な環境アクションのプラットフォーム機能の強化に取り組んできました。2022年度から環境問題・ボランティアに興味がある人同士のつながりを広げお互いの活動や情報を知るきっかけとなるよう、「環境ボランティア交流会」をスタートしました。ふるさと清掃運動会の参加団体の中から多彩なゲストをお招きして活動報告をしていただくとともに、グループワークを行い参加者同士の交流を深めています。

## ふるさと清掃運動会

### 第1回 環境ボランティア交流会

ふるさと清掃運動会主催のボランティア交流会です！  
環境問題・ボランティアに興味がある人同士のつながりを広げ、  
お互いの活動や情報を知るきっかけにしましょう！

**日時：6月12日（日）15:00～16:30**

申し込み締め切り：6月5日（日）23時59分

※オンライン（ZOOM）での開催となります  
※参加者は上限20名を予定しています

#### 当日のコンテンツ

15:00～ふるさと清掃運動会とは？&当日の流れ等説明

15:05～参加者自己紹介

15:25～清掃活動報告

・亀の子隊

（愛知県田原市渥美地区にて約25年にわたり清掃イベントを開催）

・ぎっしー

（荒川クリーンエイド・フォーラム会員で様々な清掃活動に参加・実施）

15:45～グループワーク

16:25～16:30 最後のまとめ

#### 【申し込み方法】

・ [furusatoseiso@gmail.com](mailto:furusatoseiso@gmail.com) に以下を記載したメールの送信をお願いします

- ① 題名：環境ボランティア交流会参加希望
- ② メール本文：「氏名」と「学生 or 社会人」を記載

協力団体：学生ボランティア企画集団NUTS



## 第1回環境ボランティア交流会

**開催日時：2022年6月12日（日）15時～16時30分**

### ゲストスピーカー：

NPO法人環境ボランティアサークル亀の子隊

（愛知県田原市渥美地区にて約25年にわたり清掃イベントを開催）

ぎっしー

（荒川クリーンエイド・フォーラム会員で様々な清掃活動に参加・実施）

**参加者数：12人**

**当日の様子：**オンラインで開催した当交流会では、12人の参加者の自己紹介に始まり、亀の子隊（愛知県田原市にて約25年にわたり清掃イベントを開催）とぎっしーさん（ごみ拾いマニア）の熱い思いのこもった活動報告に続き、交流を目的としたグループワークを実施しました。グループワークのテーマ「最近したエコアクション」「気になった環境&ボランティア関連ニュース」について自由闊達に意見交換をしました。

## 第2回環境ボランティア交流会

**開催日時：2022年11月27日（日）15時～16時30分**

### ゲストスピーカー：

中学生ボランティア団体NEXUS

（2013年に結成し、湘南海岸での清掃活動を中心に、

中学・高校生が主体的に環境アクションに取り組む）

**参加者数：8人**

**当日の様子：**第1回同様にオンラインで開催し、中学生を含む8名で実施しました。自己紹介に始まり、中学生ボランティア団体NEXUSに活動報告をしていただいた後、グループで意見交換を図りました。テーマは「どのような場所で清掃活動をしてみたいか」「気になった環境&ボランティア関連ニュース」。終始ポジティブな雰囲気ですべてを進めることができました。

## 第2回

### ふるさと清掃運動会 ボランティア交流会

開催日時

# 11月27日（日）

15時～16時30分

※オンライン（ZOOM）開催

ふるさと清掃運動会主催のボランティア交流会  
第二弾を開催いたします！

環境問題・ボランティアに興味がある方同士の  
繋がりを広げ、お互いの活動や情報を知る  
きっかけにしませんか？

**当日のスケジュール**

15:00～ ふるさと清掃運動会概要&当日の流れ等説明

15:05～ 参加者自己紹介

15:25～ 団体活動紹介（中学生ボランティア団体 NEXUS）

15:45～ グループワーク

16:25～16:30 最後のまとめ

○グループワークでは環境問題や身近な環境アクションについての  
テーマを元にグループで意見交換をしていただけます！

**申込方法**

- ・右のQRコードより Google フォームにてお申し込みください
- ・Google フォームによるお申し込みができない場合
- ・ [furusatoseiso@gmail.com](mailto:furusatoseiso@gmail.com) に以下を記載したメールの送信をお願いします
- ① 題名：環境ボランティア交流会参加希望
- ② メール本文：「氏名」と「学生 or 社会人」を記載
- ・締切：11月22日（火）23時59分

まずはお気軽にお申し込みください！

MAIL: [furusatoseiso@gmail.com](mailto:furusatoseiso@gmail.com)

ふるさと清掃運動会

**TOSHIBA**

# ひとりひとりの 暮らしを支えるAIを。

いつの時代も東芝は、  
技術によって未来を切り拓いてきました。

これまでにないものを生み出そうという  
創業からの想いは、今も変わりません。

かつて日本初\*の白熱電球を生み出し、  
人々の生活に明かりを灯したように。

それぞれの現場で確かな仕事をする、  
東芝ならではのAIを、これからも。

\*1890年に東芝の前身「白熱舎」が日本で初めての白熱電球を製造

人を見つめ、ビジネスを見つめ、  
AIを最適なソリューションに。 **東芝のAI**



## 東芝デジタルソリューションズグループの「ふるさと清掃運動会」への参加について

当社グループは、2007年の第1回の活動から、今年の第16回まで、毎回続けて参加させていただいています。

第1回の富士山の清掃活動には、当社からは2名が参加しました。

その後、全国の支社・支店とグループ会社に広く呼びかけ、参加者も増え、今では当社グループの一大イベントになっています。

昨年に引き続き今年も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、「個人」や「家族」単位での参加を呼び掛け、活動を行いました。

「個人」での活動が主体となることで参加者は昨年より増えるか心配でしたが、年間を通して計126名の社員、家族、友人が参加し、自宅付近のウォーキングコース、ジョギングコース、海岸、公園、事業所周辺、バス停周辺など様々な場所で清掃活動を行いました。1回目からの参加者総合計人数は、6,894名となりました。

ふるさと清掃運動会 参加者累計推移



2022年の活動の様子



### 東芝グループサステナビリティ基本方針

東芝グループは、「人と、地球の、明日のために。」という経営理念の主文および「私たちの存在意義」の原点となる「世界をよりよい場所にしたい」という変わらぬ想いのもと、事業を通じてさまざまな社会課題の解決に寄与し、社会の発展に貢献します。短期的な利益のみを追求するのではなく、東芝グループの企業活動が社会に与えるインパクトを長期的に考え、特定した重要課題（マテリアリティ）に取り組みます。

「東芝グループ行動基準」に基づき生命・安全とコンプライアンス（法令、社会規範、倫理の遵守）を最優先に、ステークホルダーの皆さまと連携しながら、企業価値向上にむけて以下のサステナビリティ経営を推進します。

なお、推進にあたっては、国際的な規範や有識者の意見も確認した上で、責任ある判断を行います。

- (1) 東芝グループがこれまで培ってきた発想力、技術力、品質力を結集し、人々の暮らしを豊かなものにする製品・サービスを提供することにより、社会の持続的発展に貢献します。
- (2) 様々な地球環境問題の解決にむけて、東芝グループのバリューチェーン全体を通じた環境負荷低減に積極的に取り組みます。
- (3) 国際的に提唱されている人権に関する原則を支持し、お客様、株主様、従業員をはじめとする東芝グループの企業活動に関わるすべてのステークホルダーの人権を尊重します。
- (4) 全ての調達取引先様とともに、人権・環境などに配慮した持続可能な調達活動を推進します。
- (5) 東芝グループが持続的に成長するために、サステナビリティ経営を推進する体制を整備し、長期的視点を企業経営に組み込みます。
- (6) ステークホルダーとの建設的な対話を促進するため適切な情報開示に努め、すべてのステークホルダーから信頼される企業をめざします。

2021年10月21日

## 人と、地球の、明日のために。

この方針に則り、弊社では社員一人ひとりが社会の課題を認識し、その解決に貢献できる活動が行えるよう啓蒙やサポートを行っています。身近で手軽に、自分ができることから始めた様々な活動が、現在では大きな“輪”となって、事業活動にも活かされてきています。これからも、当社グループは清掃活動に取り組んでいきます。

# 全国からのアクション報告

## 札幌はまなす少年軟式野球協会・札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ

### 「豊平川河川敷の清掃活動」

活動日：2022年10月2日  
開催場所：豊平川緑地南 22 条グラウンド  
(北海道札幌市中央区)  
参加者総数：150名

札幌はまなす少年軟式野球協会に所属する選手の子も達と保護者および札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ会員が豊平川河川敷の清掃活動を行いました。



## 学生ボランティア企画集団 NUTS

### 「NUTS 月イチ清掃」

活動日：2022年10月9日  
開催場所：新宿駅 (東京都新宿区)  
参加者総数：8名

NUTS というサークルのメンバー 8人で新宿駅周辺でゴミ拾いを行いました。  
1時間半ほど活動し、空き缶は45Lの袋がいっぱいになるほどでした。



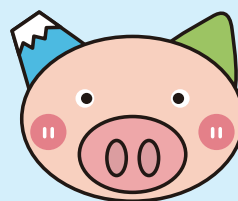
## 富士山クラブ

### 「河口湖アレチウリ掃作戦 8」

活動日：2022年10月13日  
後援・協賛：河口湖アレチウリ掃作戦実行委員会  
寄附) 2021年度 READYFOR クラウドファンディング寄附補助) 令和4年度山梨県特定外来生物防除事業費補助金  
開催場所：河口湖畔 (山梨県南都留郡富士河口湖町)  
参加者総数：5名

河口湖畔における特定外来生物「アレチウリ」駆除活動  
回収成果 アレチウリ (八木崎公園の一部か所) 14.2kg  
駆除範囲 シッコゴ公園 308 平方m、八木崎公園 659 平方m

ブログ  
[https://www.fujisan.or.jp/Blog/Phototopics/8\\_8.html](https://www.fujisan.or.jp/Blog/Phototopics/8_8.html)



全国より合計605名が参加してくれました

## メディアラグ(株) / 荒川クリーンエイド・フォーラム

### 「荒川クリーンエイド」

活動日：2022年10月15日  
後援・協賛：メディアラグ(株)  
開催場所：平井大橋上流左岸 (東京都葛飾区)  
参加者総数：34名

☆荒川河川敷にて清掃活動を開催しました。  
河川敷でゴミ拾いをするのは初めての方も多く参加いただき、多くの河川ゴミを回収することができました。

▼回収ゴミ量

燃やすごみ	41袋 (45L)
ペットボトル	10袋 (45L)
びん	5袋 (25L)
缶	7袋 (25L)
粗大ごみ	10個



## ぐるり富士山風景街道一周清掃実行委員会

### 「ぐるり富士山風景街道一周清掃 2022」

活動日：2022年10月15日  
後援・協賛：富士急行(株)  
(一社) 関東地域づくり協会  
開催場所：国道139号 精進民宿村周辺  
(山梨県富士河口湖町)  
参加者総数：77名

回収量 ポイ捨て プラスティック、ペットボトル、空き缶等  
340キロ





## 魚と子どものネットワーク

### 【鈴鹿川探検隊・秋の遠足編】

活動日：2022年10月22日  
開催場所：鈴鹿川・勸進橋（三重県亀山市）  
参加者総数：45名

秋の心地よい天気の中、にぎやかに鈴鹿川探検隊・秋の遠足編を開催することができました。調査では、魚が10種類の他、ヤゴ、タイコウチ、イシガメ、スッポン、モクズガニなどを記録しました。タモ網や投網を駆使し、鈴鹿川流域で見られる多くの種を観察することができました。最後は参加者みんなで河川敷の清掃を行いました。



## 神明子ども中高生プラザ

### 【ハロウィン行進隊】

活動日：2022年10月31日  
開催場所：プラザ神明周辺（東京都港区）  
参加者総数：15名

衣装をした子ども達が、プラザ神明周辺の清掃活動を行い、可燃ごみ2袋分を回収しました。子どもたちからは「楽しかった」「また参加したい」という声が上がりました。



## NPO法人環境ボランティアサークル亀の子隊

### 【西の浜クリーンアップ活動】

活動日：2022年10月23日  
後援・協賛：中部地方整備局三河港湾事務所  
開催場所：渥美半島西の浜海岸（愛知県田原市）  
参加者総数：65名

田原市内だけではなく、安城市、春日井市、岡崎市、豊田市、豊川市、豊橋市などからも参加。中部地方整備局豊橋河川事務所は事務局の「川と海のクリーン大作戦」と連動しての実施。三河港湾事務所からも職員が参加。  
参加者65人 ゴミの総重量220kg キャップの数356個

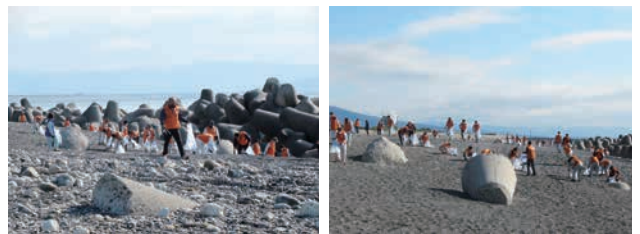


## 株式会社井出組

### 【2022年地域清掃大行動】

活動日：2022年11月5日  
開催場所：「ふじのくに田子の浦みなと公園」周辺の海岸（静岡県富士市）  
参加者総数：138名

「地域清掃大行動」は、今年で13回目の取り組みになります。今年も静岡県の「プラスチックごみ6R県民運動」に賛同登録し、田子の浦みなと公園周辺の海岸砂浜でプラスチックや紙ごみ等の清掃を行いました。協力会（井出組信栄会）の取引業者からの参加も多数あり、130人を超える規模で実施することができました。



## 特定非営利活動法人プロジェクト保津川

### 【ふるさと清掃運動会 in 保津川 （第153回保津川クリーン作戦）】

活動日：2022年10月23日  
協賛：京滋SDGsプロジェクト  
開催場所：保津川（保津大橋～保津小橋）（京都府亀岡市）  
参加者総数：68名

保津川の清掃活動を多くの市民のみなさんとともに実施しました。今回は、京滋SDGsプロジェクトの一環として、京都府や滋賀県の企業や行政機関からの参加もありました。約1時間の活動で土のう袋30袋分のほか、粗大ごみ多数を回収しました。



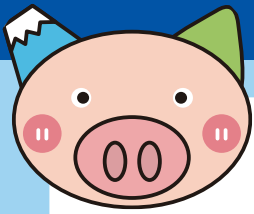
## コラム

### 表紙デザインに込めた思い

感染症の影響で自粛が強られる時期が終わり、数年前と近い形で対面活動が行えるようになりました。我慢の時期を経て変化したふるさと清掃運動会を表現するため、例年の報告集とはガラッと表紙の雰囲気を変えました。手を繋ごうとしているイラストには、プラットフォームの機能を備えた団体として、適切な距離感を図りつつ繋がりを広げて大切にしていこうという思いを込めています。私たちがふるさとに抱く思いが伝われば幸いです。

（報告集編集委員・早川采沙）





ふるさと清掃運動会主催の清掃活動(荒川・多摩川)に、IT SPORTS LEAGUE 選手を中心とした社員とその家族の皆さんに参加いただいているヨ。これまで約

**1,000名**もの皆さんが清掃活動に参加しているんだ！王貞治実行委員長も参加された第8回ふるさと清掃運動会からは、くりくり少年軟式野球連合会と少年野球教室を共催しているヨ。清掃活動前に行われた少年野球教室では、IT SPORTS LEAGUE の監督や選手の皆さんも一緒に野球指導をしてくれたんだヨ！元プロ野球選手の皆さんも参加してくださって、生きたボールと鋭いスイングを目の当たりにした子どもたちは尊敬のまなざしで見つめながら、一生懸命指導を受けていたヨ。それにしても、全員横一列に並んで声をかけながらのキャッチボールは壮観だったなあ～。もちろん午後の清掃活動にも一生懸命取り組んでくれて、河川敷がとってもキレイになったんだ！スポーツで気持ちよく汗を流し、楽しみながらゴミ拾いをする…まさしく清掃運動会だよな！



## IT SPORTS LEAGUE とは

情報産業界 (IT 業界) の発展を目指し設立された IT SPORTS LEAGUE は、IPI 軟式野球リーグ創設以来 30 年の歴史のあるリーグです。2011 年には、フジサンケイグループ広告大賞特別賞を受賞。野球からさらに 2002 年にサッカー、2008 年にテニス、2016 年にバスケットボールとフィールドを拡げ、設立の趣旨にもとづく IT 業界相互の親睦と参加企業の社員エンゲージメントの向上への寄与を目的に活動しています。



第6回ふるさと清掃運動会 in 荒川

	会場	IT SPORTS LEAGUE 関係者参加者数
第6回ふるさと清掃運動会	荒川	約 200 人
第7回ふるさと清掃運動会	荒川	約 200 人
第8回ふるさと清掃運動会	荒川	約 130 人
第9回ふるさと清掃運動会	多摩川	約 110 人
第10回ふるさと清掃運動会	荒川	約 80 人
第11回ふるさと清掃運動会	荒川	約 100 人
第12回ふるさと清掃運動会	荒川	約 70 人
第15回ふるさと清掃運動会	荒川	約 5 人 (事務局のみ参加)

※第13回 悪天候順延に伴い不参加  
 第14回 新型コロナの影響により不参加  
 第16回 リーグ試合が重なり不参加



第9回ふるさと清掃運動会 in 多摩川 野球教室



2022 年度、IT SPORTS LEAGUE は全種目稼働再開した年となりました。グラウンドにまた選手の元気な姿が帰ってきたことは感慨深くもありました。2023 年度以降、リーグの活動もふるさと清掃運動会への参加もサステナブル、かつ well-being な状態であることを理想として活動して参ります。

(IT スポーツ連盟事務局長 安部智子)



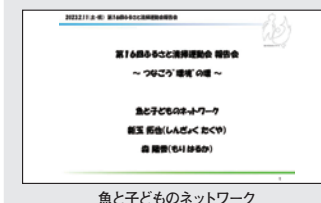


# 第16回ふるさと清掃運動会報告会

2023年2月11日(土)、第16回ふるさと清掃運動会報告会をハイブリッド形式(東京都港区立エコプラザとオンライン(Zoom))にて開催し、21名が参加しました。今回のタイトルは『つなごう“環境”の環(わ)～“ふるさと”での活動を自慢しよう～』です。この1年間の活動を総括するとともに、参加団体からの活動報告やグループワークを通してこれからの環境アクションについて考えていくことを目的としました。久保事務局長の挨拶で開会。ふるさと清掃運動会の概要を紹介した後、主催イベントである「荒川清掃」「全国一斉清掃」「全国ネットワーキング活動・集中月間」「環境ボランティア交流会」について事務局から報告しました。また、5つの団体・企業から活動紹介をしていただきました(右記参照)。参加団体の中には北海道や山梨県からオンラインで報告していただいた団体や三重県よりエコプラザまで駆けつけていただいた団体もいました。活動紹介後は4班(4～5名/班)に分かれてグループワークを実施。「最近関心のある環境関連トピック」「団体の自慢話、報告会の感想」などのお題に対して、短い時間でざっくりばらんにディスカッションを行っていただき、各班で出した内容を共有しました。報告会終了後にはエコプラザでの対面参加者のうち有志で懇親会を開催し、更に交流を深めました。全国ネットワーキング活動で出会った団体に報告会へ参加し発表していただいたことで、さらなる活動のプラットフォーム機能強化に繋がれたと思います。

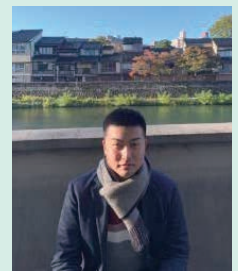


**活動報告をして  
くださった  
団体・企業と内容**  
(敬称略、発表順)



## 事務局長より

第16回ふるさと清掃運動会の事務局長を務めております久保宜映(NUTS11期)です。2022年度は前年度までの制約が徐々に緩和されていく中での活動となりました。今年度も前年に引き続き「プラットフォーム機能を強化する」ことをテーマとして掲げました。10月の「集中月間」の取り組みや「荒川清掃」等の従前からの活動を継続しつつ、コロナ禍で始めた「全国一斉清掃」では、「47都道府県で取り組む」という目標を設定しました。また、これまで当運動会に関わっていただいた全国の団体を取材する「団体インタビュー」を新たに開始しました。このように、これまでの活動を踏襲しつつ、全国に環境アクションの輪を広げていくことを意図した取り組みを行いました。「全国一斉清掃」「荒川清掃」では、実行委員の声を受け、活動結果の速報をHP上に掲載しました。情報を発信し、参加者の皆様に「参加してよかった!」「また、参加してみよう!」と思っていただくことの必要性を改めて感じました。同時に、「気軽に始めることができる」という環境アクションの強みを活かすこと、環境アクションを通じて様々な方と繋がることができることも、当運動会の魅力であると実感しました。次年度以降も、コロナ禍を経験したからできるようになったことを意識し、皆様と一緒に前向きに楽しく、環境アクションに取り組んでまいります!



## 編集後記

2022年度も新型コロナウイルスの影響が残る1年となった。そのような中でも私たちはふるさと清掃運動会がもつ環境保全アクションネットワークを維持・強化すべく取り組んだ。「団体インタビュー」では様々なお話を伺うことで、ふるさと清掃運動会の絆について考えることができた。「全国一斉清掃」は中心的な企画として大きく成長。47都道府県制覇まであと少しだったが、全国各地から報告が寄せられたことは嬉しい。「荒川清掃」ではコロナ禍前の開催規模には及ばないが、久しぶりにたくさんの方々とごみを拾うことが

できた。「報告会」はオンライン・対面のハイブリッド開催。様々な団体の活動報告やグループワークを通じて、みんな笑顔で1年間を振り返ることができた。そして学生ボランティア企画集団NUTSの協力のもと、1年間の活動がこの報告集に纏められた。

団体インタビューで「あなたの団体にとってふるさととはどこか?」という質問を投げかけた。その答えはさまざまだった。ふるさと清掃運動会が環境保全アクションを行う全ての方々の「ふるさと」となるべく、私たちはこれからも歩み続ける。  
(事務局次長 山本浩也)





## 第16回ふるさと清掃運動会 報告集

2023年3月31日発行

編集委員 野口邦彦 / 中村かの / 早川采沙  
 発行 「ふるさと清掃運動会」実行委員会事務局  
 事務局長 久保宜映  
 事務局次長 山本浩也 / 野口邦彦  
 住所 〒401-0332 山梨県南都留郡富士河口湖町西湖 2870  
 富士山クラブもりの学校内  
 「ふるさと清掃運動会」実行委員会事務局  
 メール furusatoseiso@gmail.com  
 URL https://furusatoseiso.jp

